



節分 春を迎え、邪気を払う行事

節分は季節の変わる節目を表す意味で、二十四節気のうち立春・立夏・立秋・立冬の前日をさしていました。旧暦では立春が1年の境に当たることから特別な意味をもつようになり、現在は立春の前日の2月3日を節分というようになりました。(『年中行事コツのコツ2』)

♡♡♡ バレンタイン・デー特集 ♡♡♡

2月14日は聖バレンタインデーです。

手作りチョコを可愛くラッピングして大切な人に贈ってみてはいかがでしょうか。
レシピ本、ラッピングの本、お菓子の歴史など色々な本を特集しています。



にゃん にゃんにゃん 2月22日は「猫の日」



猫の鳴き声「にゃんにゃんにゃん」の語呂合わせで2月22日は猫の日です。
猫が主人公の小説や写真集など、猫好きにはたまらない本を集めました。

- Fナ 『吾輩は猫である』 夏目漱石(著) 講談社 1985
- Fア 『旅猫レポート』 有川浩(著) 講談社
- Fカ 『世界から猫が消えたなら』 川村元気(著) 小学館 2014
- Fク 『世界からボクが消えたなら』 涌井学(著) 小学館 2016
- 159ミ 『人生はニャンとかなる!』 水野敬也(著) 文響社 2013
- 645ヤ 『世界のネコたち』 山崎哲(写真) 山と溪谷社 2000
- 645ネ 『図解雑学ネコの心理』 今泉忠明(著) ナツメ社 2002
- 778ジ 『猫の恩返し』 宮崎駿(企画) 柊あおい(原作) 徳間書店 2002



開館時間・・・月～金曜日 9:00～17:30

貸出冊数・・・5冊まで

貸出期間・・・14日間



◆◆◆ 直木賞決定！恩田陸『蜜蜂と遠雷』 ◆◆◆

恩田陸さんの『蜜蜂と遠雷』が、第156回直木三十五賞に選ばれました。



『蜜蜂と遠雷』 幻冬舎 2016

「私はまだ、音楽の神様に愛されているだろうか？」

ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。第1次から第3次予選そして本戦を勝ち抜き優勝するのは誰なのか？

恩田陸の作品を Pick up!!



『六番目の小夜子』 新潮社 1998 ←デビュー作

津村沙世子とある地方の高校にやってきた、美しく謎めいた転校生。高校には十数年間にわたり、奇妙なゲームが受け継がれていた。三年に一度、サヨコと呼ばれる生徒が、見えざる手によって選ばれるのだ。そして今年は、「六番目のサヨコ」が誕生する年だった。



『夜のピクニック』 新潮社 2004 ←吉川英治新人賞および本屋大賞

夜を徹して八十キロを歩き通すという、高校生活最後の一大イベント「歩行祭」。生徒たちは、親しい友人とよもやま話をしたり、想い人への気持ちを打ち明け合ったりして一夜を過ごす。そんななか、貴子は一つの賭けを胸に秘めていた。三年間わだかまった想いを清算するために一。

◆◆◆ タイトルに鳥の入った本 ◆◆◆

Fカ*	『ことり』 小川洋子(著) 朝日新聞出版 2012	2017年酉年
Fシ	『カラスの親指』 道尾秀介(著) 講談社 2008	
Fツ	『邪眼鳥』 筒井康隆(著) 新潮社 1997	
F葎	『白鳥異伝』 荻原規子(著) 徳間書店 1996	
BF 掃	『姑獲鳥の夏』 京極夏彦(著) 講談社 1998	
BF 如	『かもめ幼稚園』 黒野伸一(著) ディアファクトリー 2008	
Fヒカ	『カッコウの卵は誰のもの』 東野圭吾(著) 光文社 2010	
F併	『バイバイ、ブラックバード』 伊坂幸太郎(著) 双葉社 2010	
BF 併	『アヒルと鴨のコインロッカー』 伊坂幸太郎(著) 東京創元社 2006	

